

科目名 Course Name	ソーシャルワークの理論と方法(専門) I Social Work Theory and Methods (Expert) I			ナンバリング No.	I3-002		
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡方法	C-Learning で対応。または栄養棟3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	DP3,DP4,DP5						
授業の概要と 到達目標	<p>本講ではソーシャルワークの理論と方法を理解するため、特に面接技術、アウトリーチ、社会資源やその活用の過程について学習し、事例や演習を取り入れ、体験あるいは概観する。そのなかで意義や目的、方法、留意点などについて講述する。</p> <p>①社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するため社会状況の特徴を述べることができるようにする。</p> <p>②実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を述べるようにする。</p> <p>③支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための、知識と技術について例証できるようにする。</p> <p>④社会資源活用の意義を踏まえ、地域における社会資源の開発やソーシャルアクションまで発展できるようにする。</p> <p>⑤ソーシャルアクションの意義、ソーシャルアクションの方法について例証できるようにする。</p> <p>⑥個別の事例の具体的な解決策及び事例の共通性や一般性を見出すための事例分析の意義や方法を展開できるようにする。</p>						
授業の方法	テキストと視聴覚教材、関連資料を使用した講義方式とするが、理解を深めるため、グループワークやディスカッションを取り入れる。毎回書き込み式の資料を用い、知識定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	ソーシャルワーク活動の対象の特徴と援助技術を列挙でき、知識と技術がどのように活用されているのかを確認できる。					
	L03	事例のなかで活用されている援助技術や各援助技術の関連を明確にできる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	授業終了後に C-Learning にリアクションを入力させ理解度等を測定、記載された質問事項には、翌週回答する。						
教科書/ 参考図書	教科書:「ソーシャルワークの理論と方法【専門】」弘文堂						
履修上の留意点 やルール等	私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、飲食物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求めることがある。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の視点で判断する。履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートを取り、学んでいること。周りに迷惑をかけるような態度は、減点対象とする。		30		
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	選択式、穴埋め、記述、事例問題、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。		30	40	

その他				
合 計			60	40

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス 援助関係の意義と概念(ソーシャルワーカーとクライアントシステムの関係)
	事前・事後学習	事後:シラバスを確認。テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
2	授業内容	ソーシャルワークにおける援助関係の形成(自己覚知と他者理解)
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み直し、資料を確認する。
3	授業内容	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発①
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み直し、資料を確認する。
4	授業内容	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発②(ニーズ集約、提言、計画策定)
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと 事後:テキストの該当部分を読み直し、資料を確認する。
5	授業内容	社会資源の活用・調整・開発③(計画策定、実施、評価)
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと 事後:テキストの該当部分を読み直し、資料を確認する。
6	授業内容	ソーシャルワークに関連する方法/ファシリテーションの意義、目的、方法、留意点①
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
7	授業内容	ソーシャルワークに関連する方法/ファシリテーションの意義、目的、方法、留意点②
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
8	授業内容	ソーシャルワークに関連する方法/ネゴシエーションの意義、目的、方法、留意点
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと 事後:テキストの該当部分を読み直し、資料を確認する。
9	授業内容	ソーシャルワークに関連する方法/プレゼンテーションの意義、目的
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
10	授業内容	ソーシャルワークに関連する方法/プレゼンテーション方法、留意点
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
11	授業内容	ソーシャルワークに関連する方法/プレゼンテーション実施【佐野市連携事業】 外部講師:佐野市教育センターSSW 大山裕明氏
	事前・事後学習	事前:プレゼンテーションの準備。 事後:プレゼンテーションへのコメント、評価の振り返りを行う。
12	授業内容	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発/ソーシャルアクションの意義、目的、方法
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
13	授業内容	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発/ソーシャルアクションの方法、留意点
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
14	授業内容	ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際/家族支援の実際(家族支援の目的、方法、留意点【佐野市連携事業】)

佐野日本大学短期大学 2024（令和6）年度シラバス

	<b>事前・事後学習</b>	事前:グループごとに規定の課題を仕上げておく。 事後:グループごとに課題実施後の振り返りを行う。
15	<b>授業内容</b>	ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際／家族支援の実際(家族が抱える複合的な生活課題)【佐野市連携事業】
	<b>事前・事後学習</b>	事前:グループごとに規定の課題を仕上げておく。 事後:試験勉強